

「ワクワク」な夏休みミニ研修(☆地上の星☆彗) レポート5

テーマ『栄養教諭、どんな仕事をしている?どんなこと気をつけている?』(田中先生)



子どもたちも先生方も大好きな給食。一方で、栄養バランスや予算、時間などたくさんのごことに気を配りながら、ご準備・運営して下さっていることに、「知ったつもり」になっていました。しかし話を聴いたり、映像を見せていただいたりすると、「知ったつもり」になっていた自分が恥ずかしくなるくらい、予想を大きく上回るご配慮などをして下さっていることに驚くと同時に、感謝の念でいっぱいになったのは、私だけではないでしょう。子どもたちのことを考え、安心・安全に食べられるように考え、配慮して下さっているの、教室で食べさせていただく私たちにできることはあるのではないかと、指導を振り返りました。子どもたちにも伝えていきたいですね。ありがとうございます。

テーマ『4年間の学び～バトンが繋がる～』(山地先生・河本先生)

1～3年目の先生方にとっては「あこがれ」のお二人。そして、1年目から誠実にそして真摯に学び続けられてきたお二人のお話は、多くの先生にとって初心を思い出すと共に、成長という大きな歩みを感じ「倅せな時間」となりました。

常に前向き、そして「子どもたち」に力を高められるようにと自分の実践を振り返りながら、謙虚なお二人。そんな二人でも、たくさん悩み、苦しみながらも、自分たちで「壁」を突き破り「今」の姿になっていることは、多くの先生にとって「二人もそんなこともあったのか」と勇気づけられたことと思います。何より、同期で高め合える関係性、これが宝ですね。だって、服装までお揃いですから…。ステキ。



山口先生

毎朝黒板にポケモン付きのメッセージを書き、休憩は子どもたちとグラウンドをかけまわり、夜はひたすら丸付けにいそしみ…という全力投球の1年目の先生の姿を思い出しました。共に働ける時間を楽しみ、一緒に頑張りましょう。これからもまた、パソコン操作など教えてください。



山田先生

河本先生が担任した子どもたちは、先生のことが大好き。先生のことが好きな子どもたちは、ぐんぐん力を伸ばしたり、先生のことを助けてくれたりするのだなと感じていました。そんな魅力的な先生を私も目指し続けたいと思います。子どもたちのために一緒に頑張っていきましょう。

2学期に向けての3日間

いよいよ来週は、約一か月ぶりに子どもたちが登校。夏休みの間に、校内の先生方の技などから学んだり、それぞれに学びを広げたりする中で「これもやってみたい」「このしかけをしたい」など、広がっていたことと思います。

久しぶりの学校、子どもたちにとってはドキドキするものです。生活リズムの乱れなどはもちろん、「一か月会わない」というのは子どもたちの心理的距離を大きく引き離しています。長期休暇の中、気持ちがなかなか学校に向きにくい中でも登校している子も多いと思います。「学校に来てよかった」「2学期からも楽しみ」と思えるような「3日間」にしたいですね。そのために、黒板にメッセージを書いたり、夏休みの思い出を交流したり、様々なしかけを学年などでも交流するといいですね。

一方で、夏休み明けは全国的に自死などの傾向が高まる時期です。虐待などの家庭内のことは、見えにくい特性があります。夏休み中、一人ずつの様子は変わっていないかなどをしっかりと見取っていくことも大事ですね。久しぶりの再会、楽しみですね。